

別表第1（第5条関係）

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	西明寺診療所管理運営事業							
担 当 課 係 名	西明寺診療所	課	-	係	作成者	藤原典子		
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	すべての生命を慈しむ健康福祉のまち				総合計画の ページ		
	基本計画	地域医療、救急医療体制の整備						
	主要施策	診療所の管理運営				49		
予 算 費 目	一般	会計	4 款	衛生費	1 項	保健衛生費	5 目	診療所費
事 業 期 間	平成	年度	～	平成	年度	新規／継続の区分		継続
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理							
根 拠 法 令 等	仙北市診療所条例							
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務							
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助							

【事務事業の実施内容】

事業の対象（誰のため・何を）	地域住民
事業の目的・意図（どういう状態にしたいのか）	仙北市市民や他の住民の疾病予防と治療に努め、その健康保持増進に資する。
事業の内容（どのような業務、活動を行うのか）	社会保険の主旨に基づき、模範的な診療業務業務を行う。

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	年間診療受診者数	目標	人	13,475	13,200	14,764	
			実績	人	16,694	16,046	14,308	
			達成度	%	123.9%	121.6%	96.9%	
	成果指標	年間診療収入額	目標	円	51,205,000	50,160,000	62,475,000	
			実績	円	73,362,894	69,940,415	68,654,023	
			達成度	%	143.3%	139.4%	109.9%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				30,412	26,608	22,503	
	人 件 費 (B)		—		31,412	32,284	31,700	
	職 員 数		—		4.00	4.00	4.00	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				61,824	58,892	54,203	
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他				83,293	79,124	78,281
		一 般 財 源				△ 21,469	△ 20,232	△ 24,078
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		3,703	3,670	3,788
市民1人当たりのコスト(円)		—		1,939	1,873	1,746		

【事務事業の今までの成果】

市民の症状や状態を良く聞き、その人に適した質の高い診療を行っており、通院患者だけでなく往診にも力を入れている。また病気に対する悩みや不安、疑問にも（家族を含）親身になって応えている為、市民から確かな信頼をえている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	レセプトのオンライン請求を行う。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	迅速かつ正確な診療行為・診察終了後から会計までの待ち時間の短縮・往診対応

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	A 現状のまま継続（実施）	診療業務の妥当性や必要性は十分に認められるが、効率性について施設の管理運営費でコスト削減の余地があり、B2判定と判断した。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

診療報酬改定等への迅速な対応による請求漏れを防止するとともに、診療材料の購入方法の再検討を行う。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	地域の医療を担う重要拠点であり、効率的な運営に配慮しつつ継続すべきと考えます。

一次評価診断図

